明石のコミュニティ・スクール
未来にむけて 学びをかえる
未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

Twitter
YouTube

KomiKomiSukuSuku

For The Future
No.225
2023
8.1

明石市教育委員会事務局学校教育課　mail：gakkyo@city.akashi.lg.jp

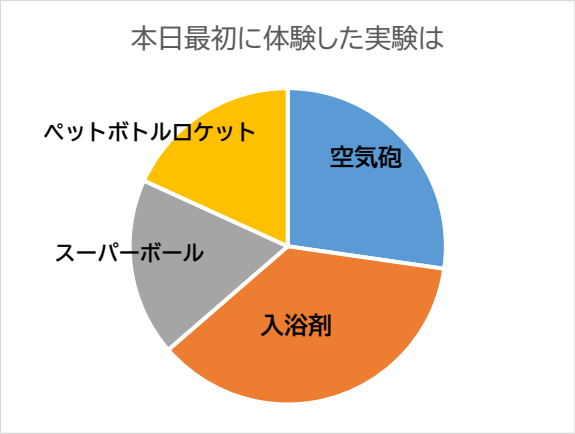
今年も開催されました“市民講座　夏休み親子実験教室”

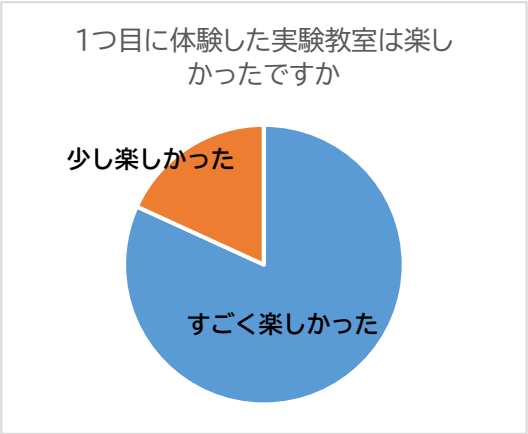
7月23日（日）に大久保北中学校コミュニティセンターで「市民講座　夏休み親子実験教室」が開催されました。今年の開催を楽しみにしておられる参加者もおられ、大久保北中学校の科学部員の皆さんの気合も十分でした。昨年は “光るスライム”と“紙飛行機”でしたが、“入浴剤”“空気砲”“ペットボトルロケット”“スーパーボール”の倍にブースも増え、企画を練り、準備を重ねてきたようでした。開会時間が近づき、参加者が受付に姿を見せ始めると、科学部員の子どもたちの“そわそわ感”が伝わってきました。科学部員の“そわそわ感”は、これまでの準備、本番への緊張と期待等が入り混じったものなんだろうなと思います。とっても心地いい“そわそわ感”でした。こうした“そわそわ感”が子どもたちを成長させていくんだと思います。

参加の親子連れが全組受付をすまし、親子実験教室が始まりました。何がどうなっているのか、どうなるのかわからないで、不安そうにしている小さなお子さんに優しく声をかけたり、お手伝いしたりするなかで、不安そうな顔が笑顔にかわり、中学生のお姉ちゃん・お兄ちゃんの笑顔も自然な笑顔に変わっていくのを見ると、こうしたことの経験の積み重ねが参加する子どもたちにとっても、出迎える中学生にとっても、また保護者の方にとっても大切なんだと感じました。 親子実験教室の様子をみながら、“こうした場を増やしていくにはどうしたらいいんだろう？”“こうした教室を継続させていくためにはどうしたらいいんだろう？”といったことを考えていると、やっぱり学校・地域・家庭をつなぎ、地域で子どもを育てるコミュニティ・スクールの仕組みが必要なんだと改めて感じました。そして、募集開始日に満員御礼になってしまうくらい、親子実験教室に興味・関心を持っていただいた保護者の皆さんに感謝するとともに、これからはこうした、保護者の皆さんのパワーが必要なんだと感じました。

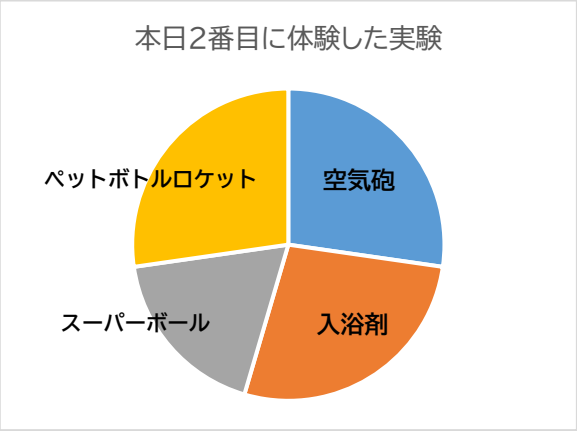
中学生のみなさん、素敵な企画ありがとう！
そして素敵な笑顔でしたよ！！

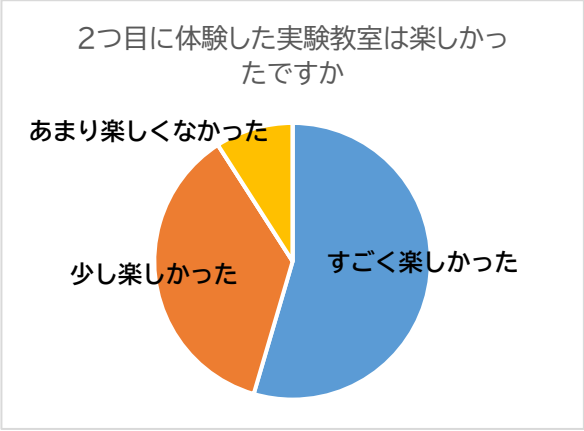
　そんな親子験教室の参加者に科学部の顧問の先生が用意されていたアンケートの結果が届きました。このアンケート結果を見ながら、科学部のみなさんが、次にどんな企画を考えだしてくるのかが楽しみです。科学部がこれからどんな風に進化していくか、参加された子どもたちが楽しみにしているのではと思います。
　そんな、アンケート結果を紹介させていただきます。



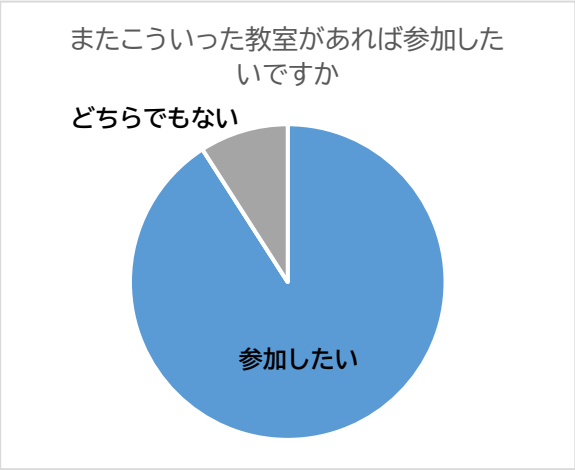


上記で回答した得点の理由
〇空気砲は小さい子供から楽しめるのと、担当の中学生も優しく教えてくれたり、一緒になってワイワイしてくれたので、子供も楽しんでいました。一緒に楽しめたと言う感じが凄くしました。
〇よく飛んだので、喜んでました。母子共に初めての経験だったので楽しかったです。
失敗して悲しんでいても、予備を用意してくれてたおかげで満足したようです。
〇一生懸命説明してくれていた。　ぜんぶたのしかった
〇重曹とクエン酸を混ぜる動作も簡単で、食紅を入れた後の粉の色の変化も楽しめた為
〇親子協力して体験できた
〇もう少し威力がほしかった。
〇お兄さん、お姉さんに教えて、貰えたこと。入浴剤は初めてだったので。
〇２年生の男の子であり、やはり、スーパーボールが大好きなのと、もともと、スライム作りなどが好きなため、とても興味のある内容でした。自分の好きな色で作れたということも楽しめたポイントだったと思います。あと、比較的簡単な内容であったため。
〇飛んだ時は楽しかったが、作り方等工程がつかめず分かりにくかった。
〇紙コップをたくさん落とせる体験が楽しかった





上記で回答した得点の理由
〇材料が机の上に並べられていて、子供がワクワクしていました。また、工程も混ぜる固めるなど簡単だったので、子供も喜んで自分から参加していました。
〇お兄さんお姉さんと一緒に楽しく作れて嬉しそうでした。自分で好きな色で作れて楽しかったです。
〇風船がペットボトルにはまりづらかったため、そこに時間がかかった。実際に空気砲で飛ばしたりやり方を見せてくれたらもっと遊び方がわかったと思う。
〇ロケットがすごく飛んでびっくりした。
〇ペットボトルに風船を被せる部分が難しかった　うまく作れなかった。
〇粘土遊びのように、楽しめた。
〇上手く出来なかった、いらんって子供が、言ってた。あまり倒れない。
〇最後のロケットを飛ばすところは、楽しかったです。実験の要素が少なかったかなと思いました。
〇それぞれのテーブル等に生徒さんがついてくれ、すぐに助けてくれた。助けを求める前にきちんと教えてくれ、スムーズに進めることが出来た。
〇混ぜたり、色や香りを選べてオリジナルな物を作れたので楽しかった



来年度の参考に　どんな実験をしてみたいですか？
〇光る泥団子作り・光の実験
〇スライム作り　〇色が変わる化学反応
〇SDGs のテーマに沿うモノがあれば面白いと思った
〇磁石を使った S 極 N 極魚釣りや、（マロウ茶にレモンを加える等）色の変化を楽しむなど、不思議を感じられる内容。
〇家ではなかなか出来ないものの実験
〇少し豆知識のような学習要素を 1.2 点入れていただけたらと思います。
〇人が入れるシャボン玉　〇割れにくいシャボン玉

大久保北中学校科学部へひとこと
〇楽しい実験をありがとうございました。親子共々楽しい時間が過ごせました。科学を身近に感じることが出来る素敵なイベントでした。一緒に楽しんでくれてありがとうございました。子供達も大人ではない、少し年上のお兄さんやお姉さんと一緒に出来て、楽しそうでした。あまり中学生と関わる事がないので、お兄さんやお姉さんと楽しい時を共有出来て、子供達も楽しそうにしていました。
〇去年とはまた違う実験内容で楽しめました。いろいろ考えてくださり、ありがとうございます。準備から片付けまでお疲れ様でした。
〇一生懸命に対応していただいてとても好感を持てました。ありがとうございました。
〇とても楽しめました。また来年も楽しみにしています。
〇忙しい中子ども達のために考え、準備していただきありがとうございました。親子共、夏休みの楽しい記念になりました。コミセンスタッフの皆さん、科学部の先生、生徒の皆さん、ありがとうございました。

〇生徒の皆さん、先生方ありがとうございました
〇ありがとうございました。これからも継続してして、開催してください。
〇すごく素敵なイベントでした。トライやる・ウィークで他校ですが中学生に触れ合い、憧れの存在のお兄さんお姉さんに教えて貰えるのは子供達にとってうれしい体験でした。中学生になったら何部に入る？って聞いたら、科学部って言うてました。先生方も素敵な雰囲気の方ばかりで、生徒達を成長させようと言うのを感じ取れ、素敵な中学校だという印象が出来ました。とても素敵な取り組みですので、ぜひ来年度も参加したいです。来年もまた狭き門になりそうですが、申込みしたいです。また秋頃にもあるとうれしいです。ありがとうございました。最後にこのフォーム入力しにくいです。ボックスで！
〇とても楽しい時間をありがとうございました。これからも、部活動を含めた学校生活を楽しんで下さい。そしてその楽しさを、地域のこども達に教えてあげてください。こどもに優しく声をかけてくれて、ありがとうございました。
〇ありがとうございました。とても楽しかったです。来年もぜひ参加させて頂きたいです。
〇優しく教えてくれてありがとうございます。楽しかったです。

　アンケートへのご協力ありがとうございました。このアンケートから大久保北中学校の科学部のみなさんはいろいろなことを考えるんだろうなと感じました。
　アンケートを読みながら、これからのヒントになるだけでなく、ひょっとしたらこんなことなら科学部のサポートができるという方が地域の中にはおられるのではと思いました。そんな地域の方と一緒にこうした親子実験教室等が開催されたら面白いだろうなとまた勝手に妄想を広げてしまいました。

（文責：北本）